

# ディスクロージャー誌

平成23年度上半期

淡路日の出農業協同組合

住所 兵庫県淡路市志筑3112-14

電話 0799-62-6200(代)



## 目 次

ごあいさつ	
JAのプロフィール .....	1
1. 経営理念 .....	2
2. 経営方針 .....	2
3. 事業活動のトピックス .....	3
4. 農業振興活動 .....	4
5. 地域貢献情報 .....	4
6. 事業の概況(平成23年度上期) .....	6
(1)事業実績の推移 .....	7
(2)有価証券の時価情報 .....	7
(3)自己資本比率(単体) .....	7
7. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況.....	8

## ごあいさつ

日頃、皆さま方には格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JA淡路日の出では、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、当JAの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、ご利用者にわかりやすくまとめた「ディスクロージャー誌平成23年度上半期」を作成いたしました。

皆さま方にご一読いただき、今後とも、なお一層のご理解とご利用を賜りますようお願い申し上げます。

淡路日の出農業協同組合  
代表理事組合長 石 田 正

### プロフィール(平成23年9月末)

設 立	平成5年10月1日(6JA合併)
本 店 所 在 地	兵庫県淡路市志筑3112-14
出 資 金	18億円
総 資 産	2,075億円
組 合 員 数	14,055名
役 員 数	21名
職 員 数	305名
支店・事業部数	11支店・1事業部

## 1. 経営理念

当組合は、洲本市・淡路市を事業区域とした都市的農村地帯で、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

本組合の資金は、その大半が組合員および地域住民の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。また、資金を必要とする組合員および地域住民の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

そして、地域の一員として、農業および地域の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービスなどを提供するだけでなく、地域の協同組合として、「営農と暮らし」を守り、食料の安全性、環境保全・地域社会への貢献という社会的使命を果たすための諸活動を行っています。

- ◎ 農地等を有効に活用し、農畜産物の供給を通じて消費者のみなさまのニーズに応えるため、農業生産力の向上に取り組みます。
- ◎ 「地域営農振興計画」の実践による農業の活性化・農業所得の向上対策および農業政策に基づく魅力ある農業の実現に取り組みます。
- ◎ 組合員をはじめ地域社会で暮らしている方々に、JAの存在意義を高めるため、生活文化、相談、環境、奉仕活動などの地域貢献活動に取り組みます。
- ◎ JA経営をとりまく内部および外部環境を十分把握するとともに総合力が発揮できる経営体制を構築し、強固な組織基盤づくりに取り組みます。

## 2. 経営方針

### ◇ 農業振興と地域社会への貢献

農業をめぐる環境は農業従事者の高齢化等極めて厳しい状況になっています。JAは、地域農業の特性を活かした基本目標を設定し、これらの実践を通じて農家所得の向上、地域の活性化等が求められます。当JAは、「夢と活力ある農業・地域社会」の実現のため、地域特性を活かした農業振興と心のゆたかさを実感できる生活環境の提供に努めます。

### ◇ 組合員と消費者の満足度向上

JAは、日常生活のあらゆる場面に密着した事業を営んでいます。各種商品やサービスが多様化・高度化するなかで、利用者ニーズは安全・安心でかつ健康志向になってきており、また、ゆとりを重視する傾向がみられます。当JAは、JAが提供するサービスの質を高め、組合員と消費者のニーズに応えた真心のこもった商品・サービスの提供に努めます。

◇ 信頼と期待に応える経営

効率的・効果的な事業運営を徹底し、安全・安心な経営を感じることができる事業運営を確立します。そのため、「強靱な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築し、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンス態勢運営を重視した職場づくりに取り組みます。

### 3. 事業活動のトピックス(平成23年度上期)

月 日	おもな行事
4月1日	新入職員入組式
4月17日	住宅フェア(洲本市文化体育館)
4月28日	たまねぎ生産者大会
5月7日～8日	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦「阪神対中日」(佐野運動公園)
6月25日	第18回通常総代会
7月24日	住宅ローン休日相談会(全基幹支店)
7月29日～31日	若トラ応援イベント「阪神タイガース応援ツアー」(甲子園球場)
8月6日～7日	若トラ応援イベント「阪神タイガース応援ツアー」(京セラドーム大阪)
8月24日	農業用廃プラスチック・ビニール回収
8月26日～27日	ふれあい旅行「松江・出雲 松江開府400年記念博覧会と世界遺産石見銀山の旅」
9月10日	洲本市畜産共進会(城戸アグリ公園)
9月15日	淡路市畜産共進会(淡路家畜市場)

## 4. 農業振興活動

JA淡路日の出は、地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて豊かな地域社会の発展を目指すために、次のような農業振興活動に取り組んでいます。

### ① 安全・安心な農産物づくりへの取り組み

生産履歴記帳運動(トレーサビリティ)の取り組み、安全・安心な農産物の提供に努めています。

また、各種生産部会を対象に法制度などへの対応等の研修会を定期的を開催しています。

### ② 集落営農組織の育成・支援

地域農業の担い手として、集落営農組織の育成・支援をすすめています。

### ③ 地産地消の取り組み

地域の消費者に地元の新鮮で安全・安心な農産物の提供に取り組んでいます。

### ④ 食育の取り組み

田植え、稲刈り等、農作業の体験機会を活用し、子供たちに食と農の大切さを伝えていきます。

## 5. 地域貢献情報

JA淡路日の出は 地域社会の発展に貢献するために様々な活動を展開しています。

### 1. 社会貢献活動

#### ① 環境問題への取り組み状況

「地球にやさしい農業」への取り組みとして、定期的に廃プラスチック・ビニール等の回収および不要農薬の回収を実施しています。

## 2. 事業を通じての活動

### (1) 地域からの資金調達の状況

#### ① 貯金残高(平成23年9月末現在)

(単位:百万円)

種 類	残 高
当 座 性	28,618
定 期 性	162,150
小 計	190,768
譲 渡 性	0
合 計	190,768

### (2) 地域への資金供給の状況

#### ① 貸出金残高(平成23年9月末現在)

(単位:百万円)

農業近代化資金	40
その他制度資金	297
農業関連融資	392
事業関連融資	15,669
住宅関連融資	17,548
生活関連融資	831
そ の 他	458
合 計	35,235

### (3) 文化的・社会的貢献に関する事項

#### ① 福祉活動

平成12年度からはじまった介護保険制度の訪問介護事業者の指定を受け、サービスの提供を行っています。また、高齢者への生活介護援助・助け合いなどの活動に取り組んでいます。

#### ② 職員の地域貢献への参加

職員においては、地域清掃活動や消防団活動をはじめとした社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しております。

#### ③ スポーツイベントの開催

スポーツを通じて、青少年の健全な育成のための活動を行っています。

## 6. 事業の概況(平成23年度上期)

平成23年3月に発生した東日本大震災により、回復傾向にあった国内景気は大きな打撃を受け、今後も国内の経済活動の課題は山積しています。

農業面では、震災の影響や農政の動向など動きがみえにくいものの、農産物流通の国際化基調は変わらないと思われます。さらに、世界的な穀物の需給状況や価格の高騰・下落などの変化が大きく、水田農業対策の手詰まり感や農地制度改革など国内の食料・農業・農村は大きな変化の局面を迎えています。

このような情勢のなか、JAは堅実で健全な経営を基本理念として、次のことに取り組みました。その結果、平成23年9月末日現在の当期剰余金は375百万円となり、計画対比198%となりました。

### 1. 信用事業

組合員および利用者に信頼される地域金融機関としての機能の充実に努めるとともに、新規開拓に取り組み、取引先の拡大をはかりました。

この結果、9月末貯金残高は1,907億68百万円と期首残高に対して101.5%の増加となりました。

また、貸出金は住宅・自動車・教育ローンおよび地方公共団体貸付等の獲得により貸出金実績は、352億35百万円と期首残高に対して100.4%となりました。

### 2. 共済事業

組合員とその家族、さらには、地域住民を含めた幅広い普及活動の展開により、長期・年金・自動車・自賠責共済など必要な人に必要な保障の提供をはかる推進活動を展開しました。

この結果、長期共済の新契約高は9月末現在で253億52百万円の実績となりました。

### 3. 購買事業

利用者ニーズに応えた安全・安心で適正な商品を提供しました。

その結果、購買品供給高は、9月末現在で14億21百万円の実績となりました。

### 4. 販売事業

生産者部会を中心に、生産履歴の記帳を徹底し、消費者への食の安全・安心と信頼の確保に努めました。

その結果、販売品販売高は、9月末現在で20億3百万円の実績となりました。

### 5. 指導事業

品質向上に向けた栽培方法やコスト低減に向けた栽培体系の見直し、新たな栽培・防除技術の導入に取り組むとともに、将来を担う農業の担い手の育成に努めました。

## 6. 福 祉 事 業

組合員・地域住民へ行政と連携して福祉事業に取り組み、訪問介護・生活援助事業を積極的に行いました。

### (1) 事業実績の推移

(単位:百万円)

項 目		平成23年9月末	平成23年3月末	平成22年9月末
信用事業	貯 金	190,768	187,926	186,729
	貸 出 金	35,235	35,099	33,156
	預 金	151,096	147,991	150,421
	有 価 証 券	7,937	7,425	6,765
共済事業	長期共済保有高	545,257	557,046	565,557
	長期共済新契約高	25,352	41,932	24,141
	短期共済新契約掛金	257	579	260
経済事業	購 買 品 供 給 高	1,421	2,910	1,523
	販 売 品 販 売 高	2,003	5,206	2,291

### (2) 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

保 有 区 分	平成23年9月末			平成23年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	1,715	1,738	23	1,110	1,123	13
そ の 他	6,221	6,221	0	6,315	6,315	0
合 計	7,936	7,959	23	7,425	7,438	13

(注)1. 時価は市場価格等によっています。

2. 取得価格は取得原価または償却原価によっています。

3. 売買目的有価証券については、時価を貸借対照表価額とし、評価損益については当期の損益に含めています。

4. 満期保有目的の債権については、取得価額を貸借対照表価額として計上しております。

5. その他有価証券については、時価を貸借対照表価額としております。

### (3) 自己資本比率(単体)

平成23年9月末	平成23年3月末
23.46%	22.93%

(新BIS基準による)

## 7. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

(単位:百万円、%)

債権区分	平成23年9月末	平成23年3月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2	44
危険債権	60	140
要管理債権	19	19
小計(A)	81	203
保全額(合計)(B)	81	203
担保	1	2
保証	61	182
引当	19	19
保全率(B/A)	100.00	100.00
正常債権	35,206	34,949
合計	35,287	35,152

(注)1. 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分したものです。

①破産更正債権及びこれらに準ずる債権

法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

②危険債権

経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本及び利息の回収ができない可能性の高い債権

③要管理債権

3ヵ月以上延滞貸出債権(元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和貸出債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援をはかり、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)

④正常債権

上記以外の債権

(注)2. 平成23年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債務者区分を変更し、各債権額は平成23年9月末時点の残高に修正しています。



JA淡路日の出